

連携室だより



謹賀新年

今年もよろしくお祈りします
2020年 元旦



子年 2020

正月恒例の箱根駅伝を観て驚いたことがあります。ほとんどの選手が同じシューズを履いていました。靴底(ソール)の厚い「厚底シューズ」です。数年前まではソールの薄い「薄底シューズ」が主流でしたが、今年は8割の選手が「厚底シューズ」でした。10区間中7区間で区間新記録が出ました。もちろん選手自身の努力とレベルアップが大前提だと思いますが、「厚底シューズ」の影響もあるのでしょうか？この進化は一時の流行なのか、これからのベーシックなのか。変化・進化の速さにも驚きます。

医療機関では電子カルテが導入され、山口・防府圏域では県央デルタネットが稼働し始めました。地域の医療機関・介護施設などとの連携、情報共有も電子化されてきています。令和2年度は診療報酬の改定もあります。これからの連携手段も急速に変化・進化していくことが予想されます。地域連携においても関係機関の皆様と進化・変化に柔軟に前向きに対応していきたいと思えます。もちろん当院の努力とレベルアップが大前提となります。

本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

研修会開催します

佐々木外科病院では、昨年度までの「在宅医療提供体制構築事業協議会開催等業務」に引き続いて、在宅医療に関する研修会を開催いたします。今回は「地域医療構想における医療機能再編 在宅医療の重要性と各機関の役割」と題し、以下のとおり実施することとなりました。研修費用は無料ですので、興味のある方はご参加賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、参加希望やご不明な点等がございましたら、地域医療連携室までご連絡ください。

- 【開催日時】 令和2年2月20日(木曜日) 18:00より(2時間程度)
【開催場所】 佐々木外科病院老健棟2階(総合健診センター研修ホール)
【研修内容】 ①講演:「地域医療構想における医療機能再編 在宅医療の重要性と各機関の役割」～在宅医療多種職連携への再認識～
長岡秀和氏(株式会社川原経営総合センター病院コンサルティング部副部長)
②グループワーク:「在宅医療多種職連携への再認識」
- 【参加対象施設】 医師会会員医療機関 病院、診療所、地域医療連携室、患者相談室、在宅療養支援診療所、一般診療所、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、特別養護老人ホーム、老人保健施設、サービス付高齢者住宅、有料老人ホーム、行政担当管轄・関連各機関等
- 【問い合わせ先】 佐々木外科病院 地域医療連携室
TEL 083-923-8817(直通) e-mail renkei@sasaki-geka.jp

曙会理念

地域の皆様の保健・医療・福祉のために貢献し、皆様に信頼され、地域とともに発展する組織をめざします。

佐々木外科病院理念

1. 消化器疾患を中心に、がん・外傷・整形外科領域の外科系専門病院として地域医療に貢献します。
2. 患者様から信頼される良質な医療を提供します。
3. 患者様の「病気」だけにとらわれず、「人」としてふれあう「やさしい医療」を実践します。

佐々木外科病院基本方針

1. 急性期病院として、急病にはいつでも(365日・24時間)受診できる病院を実現します。
2. 良質な医療の提供のため、医療設備の充実を図るとともに、より高い知識と技能を修得します。
3. 職員は相互に協力してチーム医療を行い、患者サービスの向上に努めます。
4. 患者様に必要かつ最適な医療が受けられることを第一に考え、患者様を中心とした地域医療機関との連携を行います。

地域医療連携室

【受付時間(祝祭日を除きます)】

月～金曜日 8:30～17:30

土曜日 8:30～13:00

【担当】

武重 亮(MSW、社会福祉士・主任介護支援専門員)

永久 法子(MSW、社会福祉士・介護支援専門員)

日野 麻樹(MSW、社会福祉士・介護支援専門員)

國廣 朝子(看護師)

【連絡先】

〒753-0076 山口県山口市泉都町9番13号

TEL 083-923-8817(直通)

FAX 083-923-8833(直通)

e-mail renkei@sasaki-geka.jp

URL <http://sasaki-geka.jp/>



地域医療連携室にて、診察・入院・検査(MRI・CT等)の予約を受け付けています。TELまたはFAXにてご連絡ください。

